

平成 26 年度

甲州市男女共同参画推進委員会 活動報告





H26. 4. 23 委嘱式

平成 26 年度 甲州市男女共同参画推進委員（順不同・敬称略）

	氏 名	性別	住 所
1	佐 藤 多賀子	女	甲州市大和町日影
2	中 村 道 子	女	甲州市塩山上塩後
3	萱 原 春 美	女	甲州市塩山上於曾
4	青 山 清 子	女	甲州市塩山千野
5	手 塚 かよ子	女	甲州市大和町初鹿野
6	内 田 明 子	女	甲州市勝沼町菱山
7	林 徳 子	女	甲州市塩山下於曾
8	雨 宮 和 美	女	甲州市勝沼町上岩崎
9	小 林 陽 子	女	甲州市勝沼町勝沼
10	吉 岡 寛 道	男	甲州市塩山下萩原
11	佐 野 ますみ	女	甲州市塩山赤尾
12	橋 田 悦 子	女	甲州市塩山熊野
13	寺 島 民 子	女	甲州市勝沼町菱山
14	岡 村 久美子	女	甲州市塩山下於曾
15	野 澤 敏 子	女	甲州市大和町初鹿野
16	野 口 雅 美	男	甲州市塩山上於曾
17	早乙女 修 一	男	甲州市塩山上井尻
18	滝 澤 康 雄	男	甲州市塩山千野
19	反 田 三 恵	女	甲州市塩山下塩後
20	鈴 木 嶮	男	甲州市塩山下栗生原
21	矢 崎 徹	男	甲州市塩山下萩原

< 年間活動状況 >

- 4月23日 委嘱式及び第1回推進委員会
- 5月 9日 ぴゅあ総合基礎講座参加
- 5月12日 CATVでの啓発番組の収録
- 5月13日 役員会
- 5月16日
- ~31日 啓発活動「男女(みんな)で環(わ)になり 笑顔の甲州市」CATV放映
- 5月15日 第2回推進委員会
- 6月 4日 JR塩山駅で啓発活動
- 6月 5日 JR甲斐大和駅で啓発活動
- 6月16日 JR勝沼ぶどう郷駅で啓発活動
- 6月15日 やまなし男(ひと)と女(ひと)とのフォーラム参加
- 6月19日 第3回推進委員会
- 6月26日 事業所訪問・啓発活動(甲州市社会福祉協議会・たんぽぽ保育園・恵信ケアセンター)
家族の役割分担アンケート調査
- 7月 8日 ぴゅあ総合スキルアップ講座①参加
- 7月 8日 第4回推進委員会
- 7月30日 市長と語る会
- 8月11日 学習会・第5回推進委員会
- 9月10日 第6回推進委員会
- 10月17日
- ~19日 全国女性会議参加
- 10月20日 第7回推進委員会
- 10月26日 およっちょいまつり/意識調査・啓発
- 11月 6日 甲州子どもフェスタ/推進活動・啓発
- 11月13日 第8回推進委員会
- 12月 3日 男女参画講座・活動報告&情報交換参加
- 12月 6日 男性の料理教室開催
- 12月11日 第9回推進委員会
- 1月20日 第10回推進委員会
- 2月 7日 女性の登用についてのアンケート調査
- 2月10日 条例づくり勉強会
- 2月18日 第11回推進委員会
- 3月 4日 条例づくり勉強会
- 3月14日 甲州市食育まつりにて、ワークライフバランスパネル展示
- 3月17日 第12回推進委員会
- 3月7日
- ~16日 甲州市男女共同参画推進委員会パネル展
- 3月23日 役員会

平成 26 年度 甲州市男女共同参画推進委員会



平成 26・27 年度の推進委員会のメンバーです

私たち甲州市男女共同参画推進委員会では、甲州フルーティー夢プランの総合目標である「甲州市に住む誰もが性別にかかわらず、互いの人権を尊重しつつ協力し合い、それぞれの個性と能力を十分に発揮することのできる社会の実現」を目指し、活動を行っています。

また、この活動と並行して甲州市の条例制定に向けた勉強会なども行っています。



推進委員会



家庭部会



職場部会



地域部会

甲州市男女共同参画推進委員会は、毎月、推進活動や啓発活動などについて、計画・実行方法・検証・検討・見直しなど活動のための話し合いを行っています。また、家庭部会・職場部会・地域部会の三部会に分かれ、それぞれの行動計画や実施報告などの情報も共有し、活動に役立っています。

市長と語る会



7月30日、昨年に引き続き、田辺篤 甲州市長との「市長と語る会」を行いました。

甲州フルーティー夢プランを推進していくうえでの問題点について、三部会（家庭部会・職場部会・地域部会）ごとに質問を投げかけ、より良い推進ができるように活発な意見交換をすることができました。最後には条例制定を目指すために、推進委員と市行政が積極的に連携をとっていくことを参加者全員で共有しました。

学習会



8月11日、講師に山梨学院大学法学部教授・山内幸雄氏をお招きし、

【びゅあ総合出前講座「条例づくりを進めるために大切なこと～人づくりのための条例づくり～」】を行いました。

学習会の中では、条例制定に向けての基本的な考え方や基本理念を学び、条例の基礎となる条文を読み解く必要性など、

条例づくりに向けての心構えや重要性について学習しました。また、男女共同参画の大切さについて再確認することができました。

(上記の他に、甲州市主催の行事などに参加したり、広報やCATVを活用し啓発活動を行っています。)

平成26年度・男女共同参画推進月間の活動（甲州市）

JR各駅での啓発活動

多くの方々に男女共同参画の理解を深めていただくために、塩山駅・勝沼ぶどう郷駅・甲斐大和駅の三駅にて、甲州フルーティー夢プランを分かりやすく紹介した「甲州市オリジナル・クリアファイル」を配布しました。



塩山駅



勝沼ぶどう郷駅



甲斐大和駅

事業所訪問

6月の男女共同参画推進月間にあわせて、市内の事業所を訪問し、職場における男女共同参画の推進を図るため、経営者やそこで働く方々と意見交換を行いました。

社会福祉法人 甲州市社会福祉協議会



社会福祉協議会は、地域福祉を支える大切な仕事に日々取り組まれています。職員は男性8名と女性27名と女性の多い職場です。人事や給与など男女間の差異はなく行われており、職員間でも仕事を進める上で、男性であること女性であることは意識せず取り組まれています。ただ、利用者からの要望により、男性あるいは女性職員を担当させることはあるそうです。

家庭を持つ職員からは、夜の会議や子どもの体調が悪いときなどは、夫婦間の協力や親の手助けを受けて対応している。また、共働きの女性職員からは、「大変な面もあるが、仕事をすることは生きがいにもなる」との頼もしい言葉がありました。それぞれの家庭内での協力関係を垣間見ることができました。

活き活きと働ける職場づくりのために、男性・女性リーダーの方々と共に自分の役割をしっかりと果たしている様子が伺えました。

社会福祉法人塩山福祉会 たんぽぽ保育園



在園児100名もの保育園、理事長さん以外は全員女性職員の職場です。園長先生から、産休や介護休暇取得者への対応や勤務時間の縮減など、働きやすい職場づくりに努めているとお話がありました。

かつて、男性保育士の採用を検討されたこともあったが、現行の国の制度では給与面で将来的に十分に答えられないと考え、採用を思いとどまったそうです。男女共同参画を進める上では、国の対応が必要だと考えさせられました。

保育面では、呼び名・名簿・部屋の飾り・遊びなどにおいて、園児の男女の別なく行っています。成長とともに様々な面で男女の差は出てきますが、その点はそれぞれの良さとして捉え、クッキングや運動遊びも同等にし、楽しんでいます。

また、保育を進める上で判断が難しい場面に直面したときなどは、職員みんなで考え支えあいつつ対応しているそうです。

園児の笑顔やはしゃぐ姿に心を和ませられ園を後にしました。

介護老人保健施設 恵信ケアセンター



恵信ケアセンターでは、高齢社会において介護などを必要とする高齢者を支える大切な仕事をされています。

職員は男性31名、女性51名と女性が多いとのこと。リハビリや介護を行う施設であり、職員の役割に男女の差がないことから、係長やリーダー職の大半は女性です。

休暇を取る職員がある場合には、シフトを組む段階での変更で対応しています。また、産休職員の代替として、当施設を運営している医療法人のグループ内の施設から、その期間職員が派遣されるなど、長期休暇取得者のいる部署への配慮もなされています。

職員の皆さんは、利用者ができるだけ自分の力で毎日が過ごせることをモットーに、仕事をされているとお話してくださいました。

およっちょいまつり

今年も男女共同参画に関する意識調査を実施し、積極的に市民に向けて男女共同参画の大切さ・必要性をアピールしました。



約 300 人の方が調査に協力してくれました
ありがとうございました♪



パネルを使って
聞き取り調査

【質問項目】

- ①地域の会合に参加するのは男性 or 女性？
- ②職場では男性が優遇されていると思いますか？
- ③男性が家事や育児に協力していますか？
- ④女性が地域の役員になってもよいと思いますか？

甲州こどもフェスタ



気に入った絵本があったかな？

フルーティー夢プランの総合目標のひとつである「地域ぐるみで子育て支援をしていく」ことの一環として、今年もおもちゃ交換会へ支援・参加しました。

手作りパネルで「ジェンダーバイアス」について考えるきっかけづくり。

おもちゃ交換も
大盛況



推進委員が
パネルづくりに奮闘中!!



家事場のパチャカラを見せちゃおう！ 男性の料理教室

男性の家事への参画のきっかけづくりとして、料理教室「男おとこしがつくるクリスマスごはん」を開催しました。身近な材料を使い、初心者でも簡単に作れる料理を。そして、料理の基本も学びました。



男性の推進委員も
楽しく参画

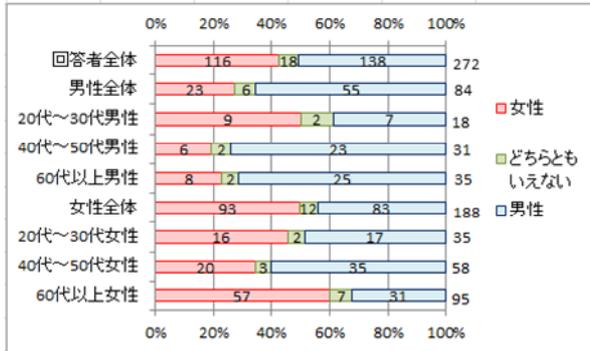
料理の基本を学んで男子力アップ↑↑

およっちょいまつり意識調査結果・平成26年 VS 平成24年

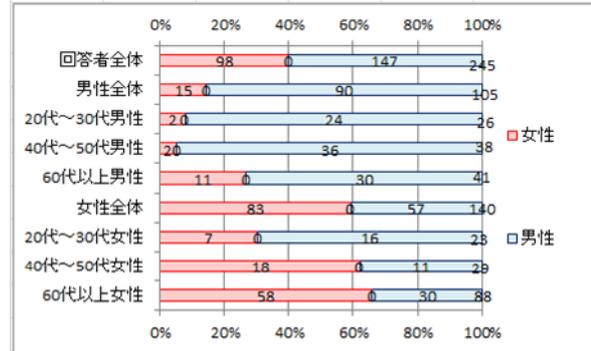


Q1 地域の会合にはどちらが多く参加していますか？

平成26年度



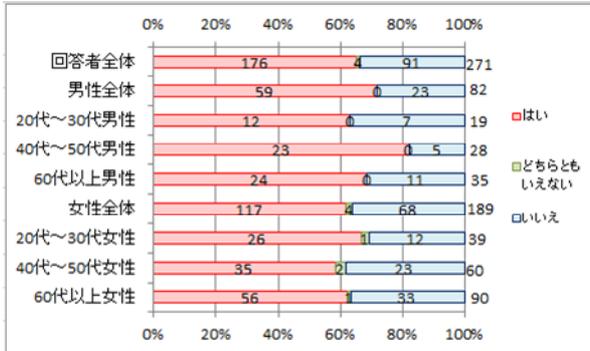
平成24年度



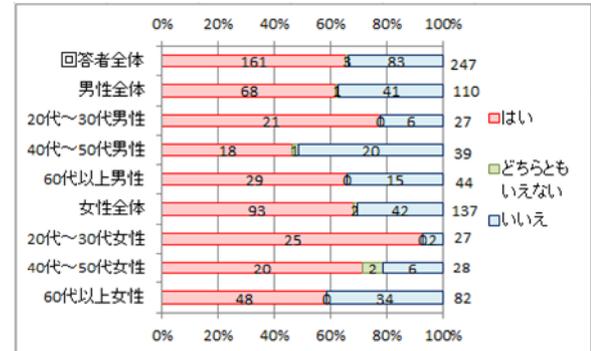
* 男性の意識として、女性の方が会合に多く参加していると答えた方が増えてきています。

Q2 男性が家事や育児に協力してくれていますか？

平成26年度



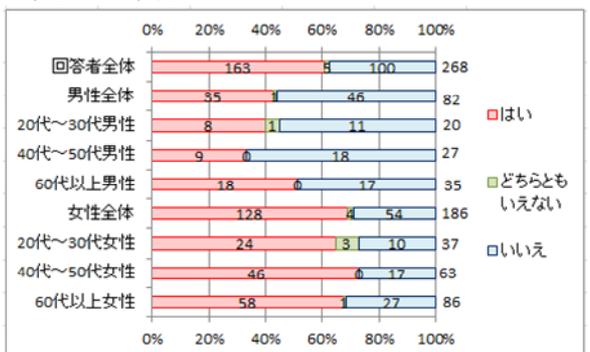
平成24年度



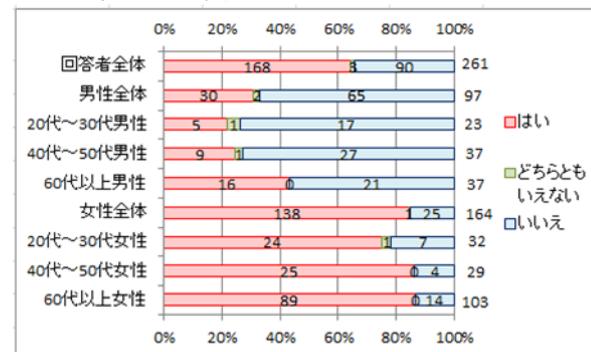
* 男性全体の意識として、家事や育児に参加していると考えている方が増えてきています。

Q3 職場において男性が優遇されていると思いますか？

平成26年度



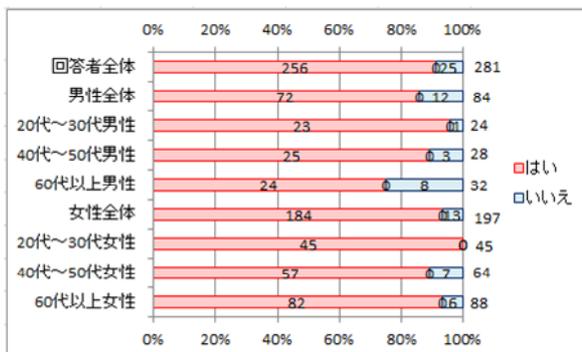
平成24年度



* 平成24年度に比べ、女性は男性が優遇されていると感じる度合いは低くなり、逆に、男性は女性より優遇されていると感じる度合いが高くなっています。

Q4 地域の役員に女性がなってもよいと思いますか？ (今年、追加した質問)

答



* 全体の9割が、女性が役員になってもよいと回答しています。
若い世代ほど、その意識が強くなっています。

あなたは
どう思いますか？

